

# 多摩マイライフ通信



## 「オール多摩！健幸甲子園」の開催支援のご報告

2017年1月29日(日)に、「第2回オール多摩！健幸甲子園」が、関戸公民館ヴィータホールにて開催されました。「オール多摩！健幸甲子園」は、多摩市のNPO、ボランティア団体、民間企業のネットワークと出会いの場を応援することを目的に、プレ大会を2015年3月、第1回大会を2016年1月に開催されました。多摩マイライフ包括支援協議会では、この大会を共催団体として応援、支援をしています。

通算で3回目の開催となった今大会では、前回大会と同様に「地域ふれあいフォーラムTAMA」と同日、同会場で開催され、発表部門22団体、展示部門23団体の参加があり、多摩市内だけでなく、日野市、八王子市からのゲスト団体の参加もありました。また大会には阿部裕行多摩市長と、遠藤めい子多摩市議会議員が、来賓として来場されました。発表部門では来場者と審査員の投票により「完全無農薬の相澤農園」が優勝賞を受賞し、プレゼンターの阿部裕行多摩市長より、賞状が授与されました。また展示部門では「特定非営利活動法人多摩草むらの会」に優秀賞が授与されました。最後に大会実行委員長の、田村豊多摩市医師会会長より「日ごろの活動や、今後の取り組み方針など、どの団体の発表も熱意に溢れる、大変素晴らしい内容で、とても勉強になりました。皆さんとの出会いをきっかけとして、今後の多摩市のまちづくりや支え合いについて、是非一緒に考えていきたいと思っています。」との総括があり、大会は閉会しました。多摩マイライフ包括支援協議会は、今後も引き続き「オール多摩！健幸甲子園」の開催を支援していく予定です。



ステージからの発表の様子



展示パネルの様子



参加団体の皆さんの記念撮影



田村豊実行委員長

「第2回オール多摩！健幸甲子園」の開催報告は、下記URLからご覧いただけます

<http://tama-mylife.com/archives/338>

## 「オール多摩！健幸甲子園」の懇親会が開催されました

2017年2月27日（月）に「オール多摩！健幸甲子園」の懇親会が、パルテノン多摩の第1会議室で開催され、参加団体や大会支援関係者など63名が参加をしました。

第1部では、大会実行委員の妹尾浩也氏から「わたしたちの手で“まち・社会・未来”をデザインする」をテーマに、同じく実行委員の福島真氏から「生命を育み、生命をつなく」をテーマに講和がありました。妹尾氏はグラフィックアートデザイナー、福島氏は市内保育園園長という立場で、現在多摩市内を中心に活動をされています。お二人とも専門分野は異なりますが、長年に渡り様々な地域活動に関わられており、そのきっかけや、業種を越えた繋がりから生まれる、今後の活動のビジョンなどについてお話をされ、健幸甲子園というイベントをきっかけに、新たな活動が生まれていくのではないかと話をされました。その後、大会実行委員長の田村豊多摩市医師会会長と、参加者との間で、健幸甲子園についての意見交換が行われました。「参加団体と市民とのふれあいの場」「発表の時間について」「教育機関との連携」「大会の継続性」「参加費について」「団塊の世代の活躍の場」などの意見に、田村実行委員長が今後の大会の展望や「健幸甲子園決意宣言」なども交えて回答をされていました。

第2部では、軽食を交えての懇親会が開催され、参加者同士の活発な情報交換が行われました。懇親会は最後に記念撮影が行われ、盛会のうちに終了しました。



妹尾浩也氏



福島真氏



意見交換の様子

オール多摩！  
健幸甲子園

### 健幸甲子園決意宣言

私たち、健幸甲子園参加団体とその賛同者一同は、今後のまちづくりについて、ここに決意し、宣言します。

1. 私たちは、日々の活動を楽しみ、心も身体も健康に過ごすことで、健康長寿のまちづくりに貢献します。
2. 私たちは、地域市民との交流を通じて、市民の力を発揮できる環境づくりを行い、地域を支える持続可能な仕組みづくりに邁進します。
3. 私たちは、地域の交え手として互いに積極的に連携を深め、情報共有に努めることで「健幸都市・多摩の創造」に寄与します。

平成28年3月10日  
健幸甲子園参加者一同



記念撮影

多摩マイライフ包括支援協議会のホームページは、下記URLよりご覧いただけます

<http://tama-mylife.com/>